

私は、小学5年生の夏休みから先生に
教えていただきました。最初のころの私は、
栄光セミナルでも下の方の成績でした。
今でも大妻に合格できたのか不思議な
くらいです。それにしても先生や両親には、
沢山の迷惑、心配をかけました。そのため
先生や両親に何百回もおこられました。
それでも先生は根気強く教えてくださ
いました。(今思うと本当に申し訳なかつたです)
また時には先生の教え子さんたちの話など
もしてくださいました。とてもおもしろかつたです。

私は先生の最初の授業のころ、初めて受験
とは大変なものなつたと思ひました。
そのころは、母が学習院女子の
卒業生だつたことを知り、学女を
目指して行つた。



(大妻から学女へと志望校を変えました)
何も考えていなかったため合格すると思て
いました。けれど、国語の過去問を見て、
「これは無理だ」と思いました。なぜなら、
私の苦手な記述だけだったからです。

6年生の5月の終りに大妻へ志望校
を戻しました。最初問題を見た時に
やはり学女より大妻の方が自分に合っている
と思いましたが、でも解き初めたら難しく、
「大丈夫かな合格できるかなと思ってお
ぼでの出来でした。もう夏休みということもあり
さすがに少しあせりかたでできました。夏休みは
ずっと過去問を解き続けました。すると
10月の合不合で大妻合格率
80%かてました。とても
うれしかったです。



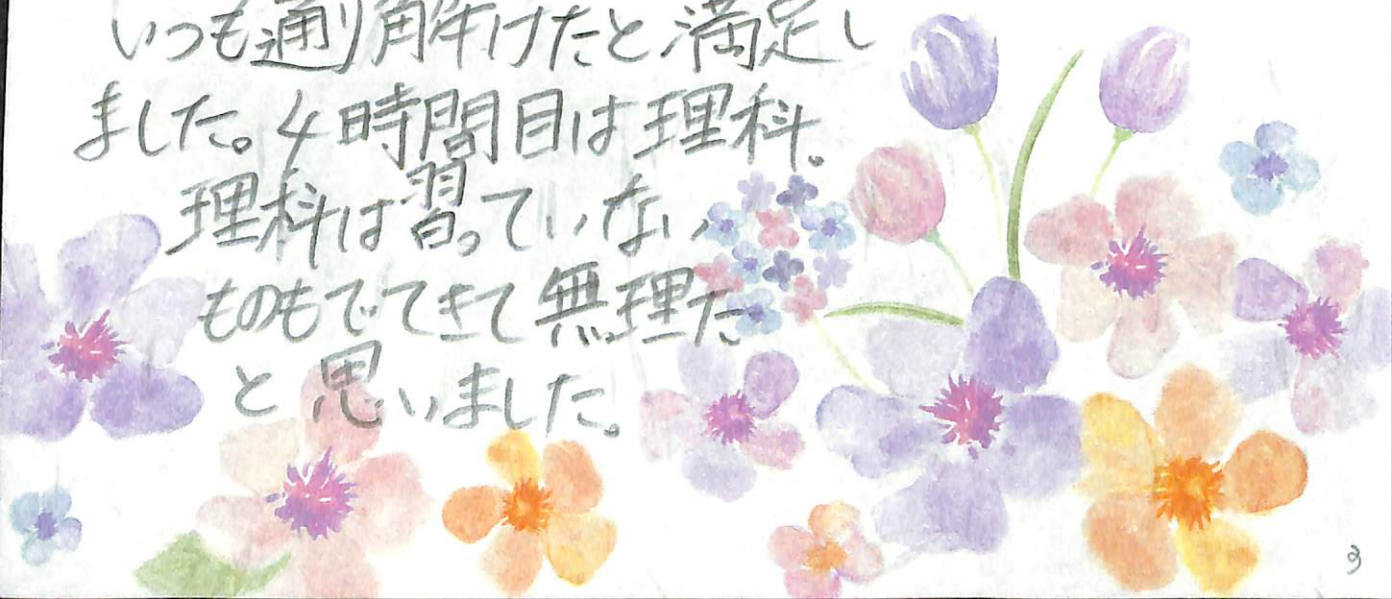
1月31日まで過去問をやり続けた。
平成8年まで解きました。(21年分)

不安と心配で1月31日の夜は泣きながら
寝ました。

2月1日。1時間目は算数。解答欄を
見たとたんに絶句しました。問題の解く
スペースが小さいのです。いつも大きな字で書いて
きた私はとてもショックを受けました。前半の
問題は、一問だけ分からなかったものの必死
でやりました。後半の問題も最後のねぼりた
ほとんどをうめることかできました。2時間目
は国語。すべて記述をうめるという気持ちで
必死に解きました。3時間目は社会。

いつも通り解けたと満足し
ました。4時間目は理科。

理科は習っていた
ものまでできて無理だ
と思いました。



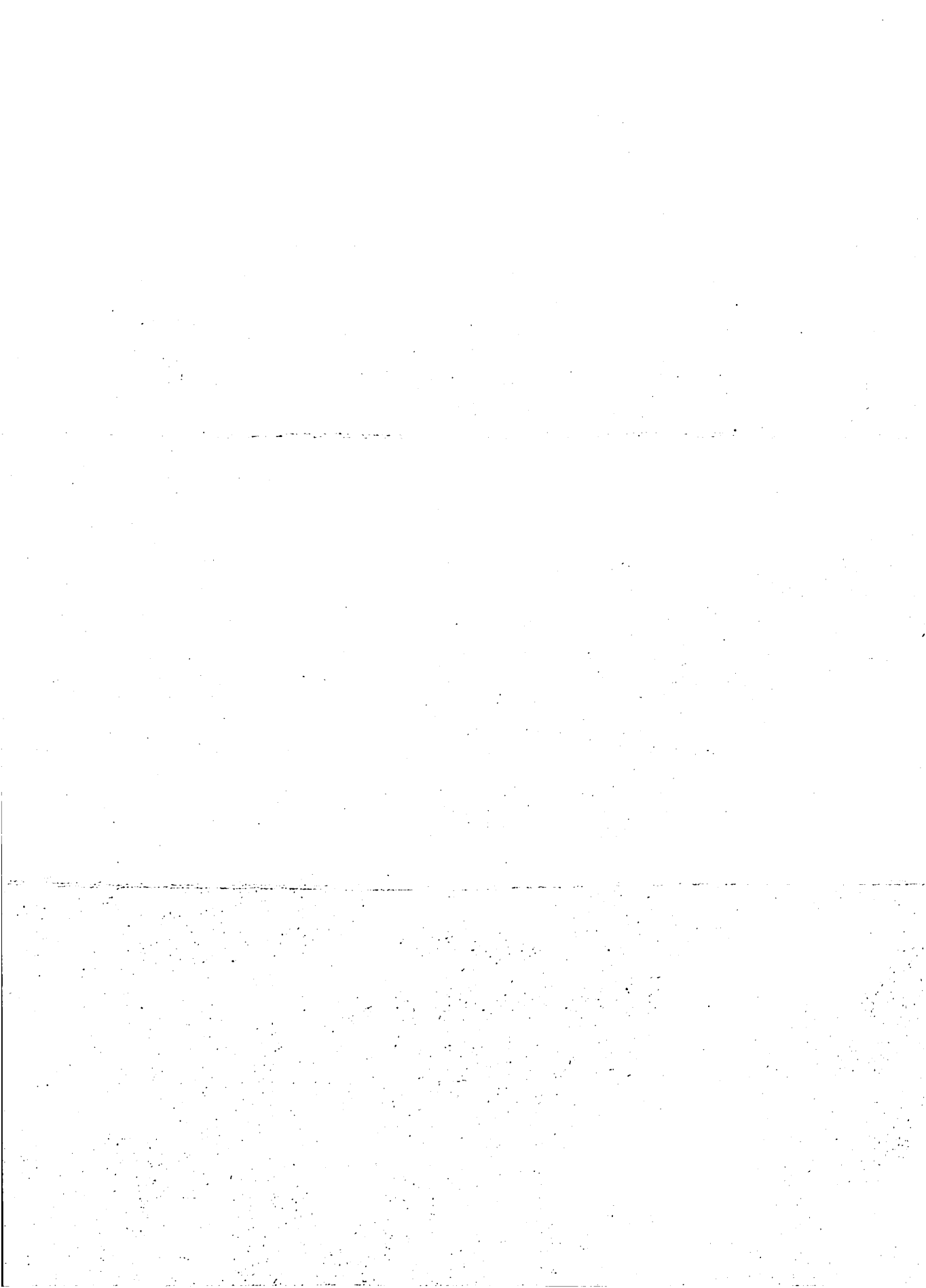
でも取れる所はとろうという思いで、必死に
解きました。けれど、理科の時点を不合格だと思
いました。久しぶりに見た大妻の制服は
近くにあいながらとても遠くに感じられました。
暗い夜持ちのま、次の午後入試の実践女子
の会場に行き昼食を食べました。母と大好き
な和皿を食いながら大妻の問題の話
などをする内に元気になりました。

実践女子の試験が終わり、車で帰宅する
途中渋滞にまきまきしているうちに眠くなり
寝てしまいました。いつの間にか大妻の合格
発表時刻の19:10にたどてしまいました。
ホームページを見ると受験番号がおりとも
うれしくなりました。家についで
お父さんに報告しました。



先生に教えていただいた勉強方法。
例えば、メモリーマップのようなもの、教科書に
新しい知識を書き込む。同じ問題集を
繰り返す。などは、中学校でも実践して
いこうと思います。私を大妻に合格させて
いただきありがとうございます。
本当に感謝しています。





指導方針・指導内容に関する感想・その他(保護者)

同時期に何人もの生徒さんを抱えているにもかかわらず、一人ひとりとの個性を見事に把握しそれぞれに適した指導をされているのには、驚きました。

娘の場合は、その気質・思考回路に合った方法で、着実に学力を伸ばしていただきました。

しかも、ご自身のやり方を押し付けるのではなく、親と常に相談しながら、その理解と工夫に努めてくださいました。

そのため、娘も親も余分な疑問や不安やストレスを抱くことなく、余裕をもって受験勉強をすることができました。

授業が終わると、その内容だけでなく娘の様子まで詳細に報告してくださいましたので、学習上の問題点から本人の精神状態までしっかりと把握することができました。

娘や親の質問に即答していただいたのも、問題点・疑問点がすぐに解消できてとてもありがたかったです。

さらに、先生の模試や組み分けテストを重視しないスタンスは、とても勉強になりました。無駄に一喜一憂することなく、しっかりと焦点を定めて学習をすすめることができました。模試やクラスに関心がなくなると、通塾に疑問をいだくようになりました。6年生からは塾をやめ先生に全てを見ていただきましたが、それから娘のやる気も学力もあがっていきました。

志望校についても、先生はご自分の子供のように真剣に考えてくださいました。入試問題との相性はもちろんですが、入学後のことまで思いをめぐらせていただいたことは、親としてとてもありがたいことでした。

娘は最初は大妻に憧れていましたが、その後別の学校に志望校を変えました。それはその学校が私(母親)の母校だったからです。当初は娘が懐かしい母校に通うことをうれしく思い応援していましたが、その入試問題はとても娘には難しいものでした。無理をお願いすれば先生は合格させてくださったかもしれませんが、しかしそれには相当の努力が必要でした。よくよく考えると私たち親子にはその学校にそれほどの思いはなく、覚悟もとても甘いものでした。そして先生と相談し志望校を大妻に戻し、先生の的確なご指導のもと合格することができました。

今、受験を終えて、「あの学校(母親の母校)で楽しく過ごしている娘の姿が想像できない」、という先生のお言葉を思い出し、先生のアドバイスに従ってよかった、本当にそのとおりでよかった、と思っています。無理をして入学しても、その後待ち受けている授業や定期テストで苦勞するのは明らかです。先生のおかげで、偏差値だけに頼らない学校選びをすることができました。

1月31日最後の授業が終わり、お借りした過去問の返却などについてお尋ねすると、「合格した娘に会いたいから」、とまたお越しいただけることになりました。この言葉が先

生の全てなのだ、と思いました。どれほど純粹に真摯に娘と向き合い指導して下さったのでしょうか。合否はまだわからないけれど、この先生にお願いして本当に良かった、と思いました。

2月1日、雨が雪に変わる寒い夜、午後入試からの帰宅途中の車の中で、大妻の合格を知りました。

喜ぶ娘と主人の傍らで、初めて先生にお送りしたメールを思い出しました。

「私は娘に憧れのセーラー服を着せてあげたい。どこにせよ、この学校に選ばれたのだという自信は、どんなにこの子を勇気づけてくれるでしょう。」

思えば初めは学習(発達)障害のレベルからの相談でした。そのころは到底手の届かない学校でした。

娘は、先日届いたセーラー服に毎日のように袖を通して喜んでいます。

全ては先生との出会いのおかげです。

先生はいつも穏やかに我が家の玄関をお入りになりましたが、見えないところでのご心労は計り知れません。本当に根気強く丁寧に娘と向き合ってくださいました。

先生に教えていただいた様々なこと身に着けたことを、できるだけ忘れずに継続していきたいように、これからも見守っていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

Eちゃん、合格おめでとうございます！！第一志望の大妻に合格してくれて、本当にうれしいです！最初は実践女子にも合格できるかわからない状況から、本当によく頑張ってくれました。

なかなか本当の姿を見せてくれず試行錯誤の連続でしたが、だんだんと信用してもらえて効率よく勉強が進んだと思います。

どんな子供でもサボるのですが、Eちゃんは特に隠れてサボるのがうまかったので監視するのが本当に大変でした(笑)。隠れてサボる子はテストでもしら~っととばしてくるので、それを止めさせるのも大変でした。。。。。

甘い顔をすればサボる、厳しくすると不幸オーラを出していじけたフリをする。。。。この状況の連続でした。最後はEちゃんの「合格したい！」という強い気持ちがすべてを解決してくれました！Eちゃんの精神面の成長は目を見張るものがありました。

ニュータイプの出現で、私自身も本当に勉強になりました！何歳になっても日々勉強ですね！

これからは今まで授業で学んだことをもとに、大妻で楽しく勉強してくださいね！！本当におめでとうございます！！